

2006 年度

科目名 国語科教育法Ⅱ	対象学科・学年 文学部教職 2 回生 教育教職 2 回生	担当者 住 田 勝 金川 廣一郎
授業テーマ 国語科授業入門（中学校及び高等学校）		
授業の概要と目標 中学校・高等学校における「国語」とはどのような教科か、何を教材としてどのような能力を育成するのか、そのためにどのような学習活動を組織すべきか、国語教師として必要とされることは何か。 前期は、国語科授業の現状や問題点・目標や指導方法について理論面から学習する。後期は実践面から、授業形態の工夫や指導案の書き方・授業の展開などを具体的な場を通して学ぶ。		
評価方法 出席状況および指導案とレポートによって評価する。		
テキスト 随時、プリントを配布する。	著者	出版社
参考書 講義時に随時指示する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 (1) 国語科教育原論：国語の授業は必要か？ (2) 国語科教育課程の研究 (3) 文学教育の研究（1）文学を教室で読むことの意味 (4)・(5)・(6) 文学教育の研究（2）文学教材の教材分析の方法 (7) 説明的文章教育の研究（1）説明的文章を教える意味 (8)・(9)・(10) 説明的文章教育の研究（2）説明的文章教材の教材研究の方法 (11) 古典教育の研究（1）今日教室で古典を読むということ (12) 古典教育の研究（2）古文教材の教材開発 (13) 古典教育の研究（3）漢文教材の教材開発 (14)・(15) 教材分析のまとめ (16) 国語の学習過程について (17) さまざまな形態の話し合い活動の指導法について (18) ロールプレイングによるディベート授業 (19) 授業者の実態把握の方法と発問・指示の工夫 (20) 学習指導案作成の道筋と実作 (21)・(22) 模擬授業への役割分担と準備 (23)・(24) 模擬授業／現代文学教材・論理的文章教材 (25)・(26) 模擬授業／コミュニケーション教材・古典文学教材 (27)・(28) 模擬授業／散文教材・言語事項教材 (29) 作文の学習指導法について (30) まとめと評価方法について		